

2024年度株主優待のご案内

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社グループ商品をよりご理解いただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。また、当社グループ商品のご優待に代えて、1型糖尿病患者の支援団体である「認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク」への寄付をご選択いただけます。

つきましては、以下のとおり、今回の株主優待の内容及び優待寄付のお申込方法等をご案内いたします。

◆ 株主優待の内容

| 保有株式数 | 優待内容（以下の内いずれか） | |
|------------------|--------------------|-------------------------|
| | 当社グループ商品等 | 寄付 |
| 100株以上 200株未満 | 1,000円相当の当社グループ商品等 | 日本IDDMネットワークへの寄付 1,000円 |
| 200株以上 | 3,000円相当の当社グループ商品等 | 日本IDDMネットワークへの寄付 3,000円 |

今回の株主優待品
(200株以上)



日本IDDMネットワークの詳細い説明は裏面へ →

※当社グループ商品等をご希望の場合は、**お手続き不要**です。

※今年の株主優待品は2024年7月30日（火）からゆうパックで発送します。

※株主優待品の再配達のお受付期限は2024年10月28日（月）までです。

◆ 優待寄付のお申込方法

- 優待寄付を選択される株主様は、**2024年6月24日（月）までに**右記QRコード、または、URL (<https://smartweb6.eventissimo.jp/>) より、優待寄付選択用ページを開き、IDおよびパスワードを下記の通りご入力の上、優待寄付をご選択ください。

ID：3806+株主番号（9桁）の全13桁

（株主番号が123456789の場合… 3806123456789）

パスワード：議決権行使書に記載の郵便番号7桁（郵便番号が〒100-1234の場合… 1001234）

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- インターネットのご利用が難しい株主様は、下記コールセンターにて電話でのお申し込みも可能です。



株主優待に関するお問い合わせ先

①当社ウェブサイトお問い合わせフォーム URL：<https://www.msdm-hd.com/contact/input/>

※お問い合わせの際は株主番号をご記載ください。

②当社株主優待コールセンター（株式会社学研ロジスティクス）

電話番号：0120-168-075

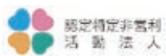
受付時間：9:00~17:30（土日・祝日除く）



ご留意事項は、裏面をご参照ください。

◆ご留意事項

- ① 所定の発送日に株主名簿記載の住所に発送いたします。基準日（2024年3月31日）以降の住所変更等、特殊事情がある場合を除き、お届け先変更などの個別対応は、お受けできません。
- ② ゆうパックでのお届けとなるため、ご不在連絡票での再配達手続きが可能です。また、郵便局での保管期間経過後は、**2024年10月28日（月）までに**前記お問い合わせ先にご連絡くだされば、ヤマト便で再送いたします。なお、発送期限は同年10月31日（木）までとなりますので、ご了承ください。
- ③ 寄付金の領収証は、発行できません。



日本IDDMネットワークとは

日本IDDMネットワークとは、小児期に発症することが多い“不治の病”である1型糖尿病患者およびその家族を支援する団体です。1型糖尿病発症時に患者・家族に必要な正しい情報を提供し、支える「救う」、1型糖尿病を取り巻く研究者、医療者、企業、行政など様々な方々との連携を図り、社会環境をよりよい方向へ導く「つなぐ」、1型糖尿病の根絶に向けた研究を支援する「解決する」の3つの約束を掲げて活動をしています。当社は以前より、1型糖尿病の子どもたちと家族に対しローカロリーシュガーを使用したお菓子作りなど、食育活動を通じて交流を行ってきたこともあり、本団体を寄付先に選定いたしました。

URL : <https://japan-iddm.net/>

※IDDM=Insulin Dependent Diabetes Mellitus（インスリン依存型糖尿病）



◆ 1型糖尿病とは ◆

1型糖尿病を発症したら、膵臓または膵島の移植を受けるか、血糖測定をしながら、生涯にわたって毎日4~5回のインスリン自己注射またはインスリンポンプと呼ばれる医療機器による注入を続ける以外に治療法はなく、現在の医療では根治できない難病です。

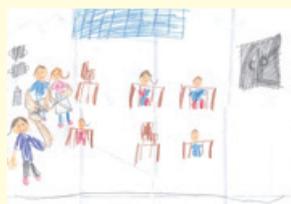
日本での子どもの年間発症率は、10万人あたり1.5~2.5人で、1年間に500~600人が新たに1型糖尿病を発症し、患者数は約2万人と推定されます。

1型糖尿病が治ったら・・・



今よりもっと食べたい!!
(ひびとくん・5歳)

食べ物ができる不思議な木を描いたよ。ママと一緒にチツクンをしないで、お腹いっぱい、食べたいものからぜんぶ食べたい!



きゅうしょくおかわり!
(ちゃやこちゃん・6歳)

1型糖尿病がなくなったら、給食たくさんおかわりしたいな!



いっぱい食べるぞ!
(あやねちゃん・7歳)

今は甘いものや果物は血糖値を気にしながら食べているけど、1型糖尿病が治ったら、血糖値を気にせずに好きなものを好きなだけたくさん食べたいです。



国立国際医療研究センター膵島移植プロジェクト研究アドバイザー
松本慎一氏

日本IDDMネットワークは2005年に「1型糖尿病研究基金」を設立し、1型糖尿病の根絶（=予防+根治+治療）を目指す研究を支援しています。2024年4月末現在で152件、8億3,216万円の研究費支援を行うこととしています。

松本慎一氏は2004年に日本で初めて膵島移植を行い、2005年には世界初の生体ドナーからの膵島移植に成功しました。2025年にバイオ人工膵島移植による「1型糖尿病の根治術の確立」を目指しています。



山中伸弥京都大学IPS細胞研究所所長へ遺産による基金から賞を授与(2018年5月)